

2年生の「中だるみ問題」は改善されたのか？

神町中学校では、2年生になると勉強時間が減少する「中だるみ問題」があるという。実際に、「中だるみ問題」は存在するのか、夢色通信社では調査を開始した。今回の2学期末試験に向けて、2年生では日々の学習時間調べを行っていた。また、夢色通信社の資料室に眠っていた現2年生が1年生の時の1学期末試験に向けての日々の学習時間調査の結果を引っ張りだし、比較してみた。その結果を表したのが、下のグラフである。テスト前10日間の1人当たりの1日の平均学習時間は、1年生の7月では136分、2年生の11月では141分であった。これをどう見るのか？2年生の齊藤哲也主任に聞いてみると、「1年生からの緊張感が続いていると言えないこともないが、もうちょっと勉強時間があっていいように思う。ワーク提出日の2日前に勉強時間が増えているのは、とても良い傾向だと思う。ただ、ワークを提出した後に安心したのか、3連休の勉強時間が増えなかったのは改善の余地がある。あくまで平均の話で、現状を見ると頑張っている人とそうでない人の差が開いている点も気になる。将来を見ずえて、進路を考えている人は勉強にも身が入っているようだ。」とのコメントが返ってきた。教育評論家のブラック・ムネティ氏は、1年生から2年生と学年の数字が2倍になったのだから、学習時間も2倍（272分）にならないとおかしいのではないか。」とのコメントを発表した。この数字、「中だるみ問題」は改善されたといえるのだろうか？



